

2022 年度実施概要

学校名

聖学院高等学校

採択活動名

海洋プラスチックゴミから社会貢献を考える

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. project	1年・2年	Project
2.		
3.		

取り組みの概要

プロジェクト授業の2年目となり、高校1年6名と2年8名計14名で実施した。毎週土曜日の3限4限のコマがプロジェクトの時間となっており、1学期11日、2学期9日、3学期5日の計50コマ分の授業時間であった。

1学期は「知る」ことをテーマに、①高2が高1に1年間で学んできたことを伝えること、②YouTubeなどにある、動画（NHKスペシャル「2030 未来への分岐点」プラスチック汚染の脅威 大量消費社会の限界、プラスチックの海、BBC 放送バリ島近くの海に大量プラスチックゴミなどを視聴、③中嶋亮太著「海洋プラスチック汚染」のアクティブブックダイアログ（ABD）で読み、中嶋亮太氏からオンライン講演会を実施、④ドキュメンタリー映画「プラスチックチャイナ」の視聴、⑤砂の中のマイクロプラスチックを採取する実験、を行ってきた。

2学期は、一人ひとりの興味関心から、何をテーマに考え、課題解決に向けて取り組むかを考え実行した。10月29日のプロジェクト中間発表会にて、ポスタープレゼンやピッチプレゼンで発表し、フィードバックをいただいた。

2学期末～3学期は、プロジェクト中間発表会でいただいたフィードバックを元に、次のアクションを考え、実行した。

2学期以降は、「学内のペットボトルを減らすには」の大テーマで、生徒の興味関心に基づき、以下の各自課題設定をした。①ペットボトルの本数を週ごとに数える。②意識を変えてもらうために、②-1 給水機の導入を学校に働きかける、②-2 環境 day をつくり意識してもらう、②-3 ビーチクリーンに誘う、②-4 食堂の使い捨て弁当箱変更の検討をする、②-5 マイクロプラスチックからアクセサリなどをつくり、学校内外の人にも意識を持ってもらう、②-6 各クラスに直接訴えに行くまたは、動画をつくり視聴してもらう、などが生まれた。2022年10月29日（土）には中間発表会、2023年2月25日（土）には年度末発表会を渋谷キューズの場所で行い、学校内外の方にフィードバックをいただいた。発表会では、自ら対馬まで赴き、離島の地理的歴史的背景とプラスチックゴミに関する諸問題との関連性を考え、小さなことでも良いから自ら行動する重要性を訴えていた。

活動中の写真を2～3枚以上、画像ファイルにてご提出をお願いします。

Wordに貼り付けた場合も 元データの画像ファイル を提出してください。